

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 イラストレーション専攻											
卒業制作											
対象	3年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	360	単位	12
担当教員	山本 佳子			実務経験	有	職種	グラフィックデザイナー				
担当教員紹介											
デザイン事務所に約10年所属。主にスポーツメーカーの販促物等の企画、制作をメインで担当するなど、様々なグラフィックデザインの経験を積む。											
授業概要											
この科目では、各自のテーマに基づき3年間のまとめとしての作品を制作する。卒業制作は、あくまで社会のニーズにもとづくもの、あるいは社会の問題・課題を改善するものを、調査・考察し、具体的な企画案を提案、広く一般に向けてプレゼンテーションすることを目的とする。											
到達目標											
調査力、考察力、企画力、プレゼンテーション力、モノを作るための技術力や表現力、そしてこれら全体を含むプロジェクトを管理(マネージメント)する力を身につけることも目標とする。この中のどれかひとつが長けているのではなく、あくまでバランス感覚に優れた人物になるため、すべての工程において成果を出すよう、取り組むこと。											
授業方法											
これまでの実習科目の進め方とは違い、担当教員との「面談」が授業の主体となる。学生は、毎回担当教員に、卒業制作作品の進捗状況および今後の計画について報告し、それに対して教員は適宜必要なアドバイスを実施する。											
成績評価方法											
プレゼン課題完成度	20%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
リサーチ	40%	提出課題完成度を総合的に評価する									
平常点	20%	制作準備と過程を評価する									
	20%	積極的な制作準備と過程を評価する									
履修上の注意											
学生は各回ごとに必要な資料をアナログまたはデジタルデータで準備すること。調査、取材などの日程が授業と重複する場合には、実施前日までに担当教員の許可を得ること。授業時限数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	企画アイデア提案 / 3案以上の企画アイデアを提案し、取り組むべき「課題」を導き出すことができる										
第2回	企画調査 / 「課題」に基づき、市場調査を行い、ターゲットの動向を把握する										
第3回	企画の立案 / 市場調査に基づき、「課題」に必要な企画を立案する										
第4回	企画書作成 / 立案した企画を、想定したターゲットやクライアントに向けた企画計画書としてまとめる										
第5回	企画プレゼンテーション／企画計画書を、必要なビジュアル用いながら具体的に、わかりやすくプレゼンテーションする										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 イラストレーション専攻	
卒業制作	
第6回	企画案制作作業① / 「課題」を改善するツールやビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する
第7回	企画案制作作業② / 「課題」を改善するツールやビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する
第8回	中間プレゼンテーション / β版をプレゼンテーションし、教員等の指摘を受け止め、改善点を導き出すことができる
第9回	制作作業① / 「課題」を表現するための最適なメディアを意識して作品を制作する
第10回	制作作業② / 「課題」を表現するための最適なマテリアルを選択して作品を制作する
第11回	制作作業③ / 「課題」が的確に表現できているのか、教員と共に検証作業をする
第12回	制作作業④ / 検証作業を経て、作品を修正し、納期までに作品を完成させる
第13回	最終プレゼンテーション / 「課題」と自身の計画を振り返った上で、自身の作品の最終プレゼンテーションを行う
第14回	展覧会準備 / 展覧会に合わせ、展示計画やツールを検証し、制作する
第15回	展覧会 / 自身の作品を展示し、他者に自身の「課題」解決提案としての作品を丁寧に説明できる